中学校２年　社会　調査結果及び考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			内容別		計
	思考・判断	技能・表現	知識・理解	地理的分野	歴史的分野	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	6	6	5	8	9	１７
－10％ より低い	1	1	1	2	1	3
計	7	7	6	１０	１０	２０

（２）考察

①　全体について

ア　平均通過率は、設定通過率の平均を約３ポイント下回っているが、20問中17問が設定通過率の±10%内であるので、学習の実現状況はおおむね良好である。

イ　今年度出題した新しい問題及び前年度同様の趣旨で出題形式を変更した問題の半数程度で、通過率が設定通過率を10ポイント以上下回り、指導の改善が必要である。

②　成果

ア　前年度の課題であった秋田県の特色についての考察の通過率が54.9%から今年度は76.5%となり、指導の改善が図られている。

イ　経年比較している問題のほとんどにおいて通過率の上昇が見られ、指導の改善が図られている。

③　課題

ア　複数の情報を組み合わせて適切に判断したり、資料を活用して考察する力が不足している。

（３）今後の指導

ア　問題解決的な学習の過程において、複数の資料や情報を比較したり関連付けたりしながら思考する学習の一層の充実を図る。

○ポイント［(9を例として］

①提示されている情報の読み取りからの判断

②必要な情報を適切に計算処理した上での判断

○具体例

表　世界の国々の調査

	A国	B国	C国	D国
国土面積(万k㎡)	100	769	186	55
年間降水量(mm)	647	26	1,903	633
人　口(万人)	8,000	2,000	22,400	6,100
首都の緯度	北緯30度	南緯35度	南緯６度	北緯49度
首都の海抜高度	64	576	8	65
一人当たりの所得	1,704	43,402	1,844	41,207
1000人当たりの自動車保有台数	40	680	76	600

・４か国の情報であることを捉えるとともに、提示されている項目を確認する。

・一人当たりの国民所得や1000人当たりの自動車保有台数の比較では、提示されている項目から必要な情報を適切に選択して読み取り、判断する。

・国民所得や自動車保有台数の合計の比較では、単位当たりの数値の扱いに留意しながら概数の計算を行い、判断する。

・日常の学習においては、学習課題の解決のためにどのような調査が必要か、どのような資料や情報が必要か等について生徒に考えさせる場面を大切にし、課題解決の見通しをもたせるような指導が望まれる。

・調査結果を整理し報告書にまとめたり発表したりする活動を重視したい。その過程で、取り上げた国の地域的特徴を論述するために、統計資料から必要な情報を読み取ったり、単位、実数と割合の違いなどに留意しながら概数による計算を行ったりして、その結果から複数の国々を比較して資料を作成するなど、情報を活用する作業的な学習活動を取り入れたい。

全国学力・学習状況調査Ｂ問題の出題趣旨を生かした問題